

「東北復興ツーリズム」の一環として、三陸沿岸道路エリアを巡る 旅行業者によるモニターツアーを実施します。

【三陸沿岸道路エリアを巡る旅行業者によるモニターツアーの目的】

東日本大震災から12年が過ぎ、三陸沿岸地域では復興道路である三陸沿岸道路が全通し、新たな復興のステップを迎えています。新に整備された震災伝承施設、復興インフラは、未来への希望、生きる力や安全・安心の確保といった様々な思いが込められている施設であり、貴重な地域資源です。

この資源を防災教育だけでなく、地域の活性化、地域産業の創出に活かし、持続性のある地域社会の形成に向けた取り組みが求められています。そのため、これらの貴重な資源を観光資源としての活用を図る観点から、旅行業者によるモニターツアーを実施します。

1. モニターツアーの概要

このモニターツアーは3.11伝承ロード New Destination プランの一環として、三陸沿岸道路を活用し、既存観光施設と震災後に整備された震災伝承施設等を融合したツアーの提案を行う観点から、旅行業者に震災伝承施設等を体験していただき、観光コンテンツとして価値を把握するものです。

2. モニターツアーコース

仙台市から八戸市に至る三陸沿岸地域は、広大であり様々な施設があることからモニターツアーコースを3コースに分けて実施します。

Aコース：宮城県（仙台～気仙沼）ルート 詳細は別添資料の通り
実施日 9月7日(木)～8日(金)

Bコース：岩手県沿岸南部（陸前高田～宮古）ルート
実施日 8月31日(木)～9月1日(金)

Cコース：岩手県北部と青森県（宮古～八戸）ルート
実施日 8月24日(木)～25日(金)

3. モニターツアー参加企業

日本旅行協会(JATA)東北支部からの全面的な協力を得て、1コースに5社の企業が参加します。

	参加企業名	備考
Aコース	東武トップツアーズ、ツアー・ウェーブ、JTB、近畿日本ツーリスト、ジャルセールス	
Bコース	日本旅行東北、名鉄観光サービス、東武トップツアーズ、JTB、ジャルセールス	
Cコース	日本旅行東北、名鉄観光サービス、近畿日本ツーリスト、ジャルセールス、宮交観光サービス	

4. その他

モニターツアーの取材は、別添資料に取材可能施設を記載しております
なお、取材を希望される場合は、事前に当機構までご連絡ください。

〈発表記者會〉青森県政記者會、岩手県政記者會、宮城県政記者會、東北専門記者會、東北電力記者會

【本件に関するお問い合わせ先】

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構 原田、種市、石森 TEL：022-393-4261

別添資料

モニターツアーのルートについて

○Aルート 宮城県（仙台～気仙沼）ルート （9月7日（木）-8日（金））

テーマ；産業復興と賑わいの創出

仙台駅発＝ 野蒜ヶ丘団地 ＝ 石巻南浜津波復興祈念公園
 ＝女川シーパルピア ＝ 宿泊
 ＝宿泊 ＝ 道の駅「南三陸」 ＝ 気仙沼市震災復興伝承館
 ＝ 気仙沼内湾地区 ＝ すがとよ酒店 ＝ 道の駅「川崎」
 ＝ 一ノ関駅着

【1日目】9月7日（木）

時間	行程	コンテンツ概要	取材
9:00	JR 仙台駅（東口）		
	移動（60分）		
10:00～ 11:00	【野蒜ヶ丘団地】《復興》 SAY'S 東松島 山縣氏の座学及び団地案内	大規模な切土による高台集団移転地となった野蒜ヶ丘団地。JR 仙石線の移設や環境との調和などを実施した区画整理事業	
	移動（30分）		
11:30～ 12:40	【石巻南浜津波復興祈念公園（みやぎ東日本大震災津波伝承館含む）】《慰霊・伝承》	震災の追悼と鎮魂、復興の象徴とした「復興祈念公園」と宮城県の津波伝承館がある。	取材可能
	移動（10分）		
12:50～ 13:50	【いしのまき元気いちば】《昼食》	賑わいを創出した旧北上川の堤防整備と一体的に整備した観光交流拠点施設。（食事と物販施設）	
	移動（30分）		
14:20～ 15:50	【女川町シーパルピア】《復興》 女川町観光協会による座学と案内	大規模嵩上げ盛土を行い、防潮堤のない景観を創出した賑わい拠点。女川駅前広場から港に一直線に伸びるレンガみちの両側を中心に観光物産拠点施設がある。	
	移動（60分）		
16:50	【宿泊：南三陸町】	南三陸まなびの里いりやど	

【2日目】9月8日（金）

時 間	行 程	コンテンツ概要	取材
9:00	【南三陸：宿泊施設出発】		
	移動（10分）		
9:10 ～ 10:10	【道の駅「さんさん南三陸」《買物・伝承》	建築家「隈研吾氏」監修のもと設計された施設。物販施設と R4 年 10 月に開館した震災伝承施設「南三陸メモリアル」が特徴。	
	移動（30分）		
10:40 ～ 12:10	【気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館】《伝承》	気仙沼向洋高校旧校舎を震災遺構として活用した気仙沼市の震災伝承施設。被災直後の映像や被災した市民の活動を伝える。	取材可能
	移動（20分）		
12:30 ～ 13:30	【気仙沼内湾地区】《昼食・観光・買物》	甚大な被害を受けた内湾地区。「気仙沼の顔」であった内湾地区のにぎわい再生を図るための拠点となる商業施設エリア。	
	移動（10分）		
13:40 ～ 14:40	【すがとよ酒店】《復興・買い物》	震災当時の状況を、写真を交えながら伝える。	取材可能
	移動（50分）		
15:30 ～ 15:50	【道の駅「かわさき」】《休憩》	岩手県の国道 284 号線沿い、北上川近くの北上大橋のたもとある道の駅。地元のお母さんたち自慢の無添加加工食品が有名。	
	移動（20分）		
16:10	JR 一ノ関駅到着・解散		

○Bルート：岩手県沿岸南部（陸前高田～宮古）ルート
 （8月31日（木）-9月1日（金））

テーマ：三陸リアス式海岸と震災の教訓を知る

起点：一関駅 = いわて津波メモリアル
 = 三陸鉄道：盛駅～釜石駅 = いのちをつなぐ未来館
 = 宿泊
 = 鵜住居川水門見学 = 大槌町文化交流センター「おしゃち」
 = 浄土ヶ浜 = 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅（終点）

【1日目】8月31日（木）

時間	行程	コンテンツ概要	取材
9:30	JR一ノ関駅出発	9:21 はやぶさ 101号	
	移動（100分）※休憩10分含む		
11:10～ 12:20	【東日本大震災津波伝承館（高田松原復興祈念公園含む）】《伝承・慰霊》 伝承館見学 11:30～12:00	震災の事実と教訓を次世代に継承していくための拠点施設。高田松原津波復興祈念公園内で、国営追悼施設と道の駅「高田松原」と一体的に整備された伝承館。	取材可能
	移動（30分）		
13:00～ 14:00	【三陸鉄道：盛駅（13:00 発）～釜石駅（13:51 着）】 《弁当・観光》	風光明媚な三陸リアス式海岸を満喫できる車窓景観を堪能しながら走る列車。	
	移動（20分）		
14:20～ 15:50	【いのちをつなぐ未来館】 《伝承》	鵜住居小と釜石東中の生徒全員が助かった物語（釜石の奇跡）を中心に伝える釜石市震災伝承施設。	
	【釜石鵜住居復興スタジアム】 《復興》	2019 ラグビーワールドカップの会場になった鵜住居小学校と釜石東中学校の跡地に整備されたスタジアム。	
	移動（20分）		
16:10	【宿泊：釜石市内】	宝来館	

【2日目】9月1日（金）

時間	行程	コンテンツ概要	取材
9:00	宿泊施設出発		
	移動（20分）		
9:20～ 10:20	【鶴住居川水門】《防災》 行政による説明あり	高さ 14.5m、全長 236m にもなる巨大水門。津波を受け止める 5 つのカーテンウォールとゲートで構成されている。	
	移動（10分）		
10:30～ 11:30	【大槌町文化交流センター「おしゃ っち」】《伝承》 行政による説明あり	被災前の大槌町の町並みを再現したジオラマや震災からの復興の過程などをパネル展示している町の震災伝承施設。	取材可能
	移動（50分）		
12:20～ 13:20	【浄土ヶ浜】《昼食・観光》	三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置。三陸沿岸を代表する景勝地。	
	移動（50分）		
14:10～ 14:40	【道の駅「やまびこ館」】《休憩》	岩手県の国道 106 号線沿い、駅名の由来は、「こだま」が返ってくる山間のロケーションから命名。	
	移動（50分）		
15:30	JR 盛岡駅到着・解散		

○Cルート：岩手県北部と青森県（宮古～八戸）（8月24日（木）-25日（金））

テーマ：自然が織りなす景観と津波防災を学ぶ

起点：八戸駅 = 八戸市みなと体験学習館

= 道の駅「いわて北三陸」 = 小袖海岸 = 普代水門

= 宿泊

= 北山崎断崖クルーズ = たろう「学ぶ防災」 = 浄土ヶ浜

= 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅（終点）

【1日目】8月24日（木）

時間	行程	コンテンツ概要	取材
10:40	JR八戸駅出発		
	移動（30分）		
11:10～ 12:10	【八戸市みなと体験学習館】 《伝承》	八戸港を見下ろす館鼻公園内（旧八戸測候所跡）にある。市の歴史・文化と東日本大震災を伝える震災伝承施設。	取材可能
	移動（50分）		
13:00～ 13:50	【道の駅「いわて北三陸】 《昼食》	久慈広域のゲートウェイとして久慈北ICに隣接して整備。久慈市、洋野町、野田村、普代村の情報や魅力を発信。	
	移動（20分）		
14:10～ 15:00	【小袖海岸】 《観光》 海女さんの素潜りを見学	NHK朝ドラ「あまちゃん」で有名な「北限の海女」の素潜り漁の実演が見学できる。	
	移動（40分）		
15:40～ 16:20	【普代水門】 《防災》 行政による説明あり	高さ15.5m、全長205mの東北一と称される水門が被害を抑え、犠牲者がなく「奇跡の水門」と呼ばれている。	
	移動（5分）		
16:25～ 16:45	【太田名部防潮堤】 《防災》	高さ15.5m、全長155mの防潮堤。普代水門と合わせ住宅地や集落中心部への津波到達を防いだ。	
	移動（30分）		
17:15	【宿泊：田野畑村】	ホテル羅賀荘	

【2日目】8月25日（金）

時間	行程	コンテンツ概要	取材
8:20	宿泊施設出発		
	移動（10分）		
8:30～ 9:40	【北山崎断崖クルーズ】《観光》	島越港を発着所として、北山崎までを約50分で一周。臨場感たっぷりに、田野畑の海のパンoramaを堪能できる。	
	移動（30分）		
10:10～ 11:40	【たろう「学ぶ防災」】《防災・伝承》	宮古市の田老地区の現状や被災時の状況を防潮堤に上って災禍の記録と後世への教訓を伝える。	取材可能
	移動（20分）		
12:00～ 13:10	【浄土ヶ浜】《昼食・観光》	三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置。三陸沿岸代表の景勝地。	
	移動（50分）		
14:00～ 14:30	【道の駅「やまびこ館」】《休憩》	岩手県の国道106号線沿い、駅名の由来は、「こだま」が返ってくる山間のロケーションから命名。	
	移動（50分）		
15:20	JR盛岡駅到着・解散		